学校番号	1101

令和２年度　工業科（機械系列）

教科	工業	科目	生産システム	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生産システム技術「工業３１３」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械技術者として必要な生産システム技術に関する基礎的な知識と技術を総合的に習得させ、生産現場における維持・管理システムの分野などの実際の現場において活用できる能力を育成する。

２　学習の到達目標

１、生産システムに関する基礎的な知識と技術を充分理解させる。

２、習得した知識と技術を実際に活用できるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生産システムに係る基礎的な知識や技術への関心と、その習得に意欲があり、合理的な生産方法を企画し実際に活用しようとする態度。	生産システムに係るさまざまな事象やそれに係る問題点を把握して分析し、それに対処するために、これまで習得した知識や技術などを活用するとともに、それを基にプレゼンテーションできること。	生産システムに係る知識や技術を身につけ、安全や環境に配慮し、いろいろな場面で活用できる。	生産システムの基礎的な知識や技術の理解はもとより、ものづくりのさまざまな場面において問題解決を試みることができるようそれらを相互に関連させ理解していること。
評価方法	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	直流回路	1. 電気回路 2. オームの法則 3. 抵抗の性質 4. 電流の熱作用と電力 5. 電流の化学作用と電池	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:直流と交流の違いを理解させ、起電力･電位差・電圧を正しく理解しているか。 b:オームの法則を理解し直流回路の計算ができるか。 c:抵抗の性質や種類について理解できているか ・ジュール熱・電力・電力量、許容電流について理解できているか d:電池の仕組みを科学的に理解できているか	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答
前期・後期	磁気と静電気	1. 電流と磁気 2. 磁気作用の応用 3. 静電気	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:クーロンの法則を理解し、計算に応用できるか。 b:フレミングの法則を理解し、直流電動機･発電機の構造や原理を理解できるか。 c:コンデンサの種類や性質を理解し、静電容量の計算ができるか d:基礎的知識を理解している	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答
後期	交流回路	1. 交流の基本的取り扱い 2. 交流回路 3. 交流電力	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:周期･周波数･位相･実効値･平均値について理解しているか b:R．L．Cの単独回路において電圧、電流、リアクタンスが理解・計算ができるか。 C:R．L．Cの複合回路において位相やインピーダンスが理解でき計算できるか。 d:基本的知識を理解している	出席状況 学習態度 定期考査 ノート整理 教科書等の問題解答

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。